

古い畳（またはイグサ製品）を探しています！ ご協力よろしくお願ひします！

和室は日本独特の文化として世界に認知され、和室を産み出した畳は日本のみで使われている珍しい床材とされています。畳はどこで生まれ、なぜ日本だけで発達したのでしょうか。
食材ではないただの草が、どのようにして栽培化されるほどまでに至ったのでしょうか。

当研究室では、ゲノム科学を取り入れた、民俗植物学という切口から、畳と原料イグサの栽培化の起源の解明を試みています。

例えば、生のイグサと、畳のイグサを対象にして、古代から現代のイグサのDNAの情報を読み取ります。これを、どのような地理的な場所で、どのような建物や用途で、どの時期に、使われていたのかという情報を併せて記録します。

これらの情報を、生物地理学的に記述し、時空を越えて比較検証することができれば、問題への手がかりを得られる可能性があります。

和室の発生や成熟に関する「イグサと畳の自然文化史」として、将来的に多方面の学術分野との総合的研究を産み出す基盤情報を構築することを目的としています。

日本で現在確認されている最古の畳は正倉院にあるようです。この畳をいつか解析できたらと考えていますが、それに至るためには、その解析よりも前にまず、できるだけたくさんの、昔の古畳やイグサ製品の解析によるデータを集めることがどうしても必要です。

「ちょっと古い（20-30年前）」「まあまあ古い（50年前）」「結構古い（100年前）」「かなり古い（150年前）」「相当古い（200年前以上）」というような、様々なレベルの古さの畳（やイグサ製品）を探しています。劣化したり汚れていたり、カケラなど一部でも構いません。

日本一のイグサの生産地にある唯一の高等教育機関（熊本高専）だからこそできる、イグサと畳の歴史を紐解く研究、日本文化の真髓がどのように作られてきたのかを解明する研究に、みなさまのお力添えをいただけないでしょうか。よろしくお願ひします。

* 現在手元に届いたサンプルの例（まだまだ数が全然少なくて大変困っている状況です）

- ・ 民家にあった100年前の畳（from熊本県・小国）
- ・ 寺院の畳の交換時に畳屋が保持していた100年前の畳（from東京都・台東区）

必要な情報

- どこにあったものか
（具体的な場所や建物など、状況）
- いつの時代のものか
（詳細がわかればわかるだけ良い、
証明するものがあれば尚良い）
- 由来
（もしわかれば、どこの畳屋で作ったとか、
どういう経緯でいまそれがここにあるとか）
- 他に追加の情報があれば。（写真なども）

* 着払いでOKです。

独立行政法人 国立高等専門学校機構
熊本高等専門学校

生物化学システム工学科 生命情報研究室
生産システム工学系 BC Gr

木原 久美子
博士（理学）

〒866-8501（または〒866-0074）
熊本県八代市平山新町2627
（専攻科棟3階・木原研究室）

TEL : 0965-53-1383
FAX : 0965-53-1389

MAIL : kihara@kumamoto-nct.ac.jp

* 実験室にいるなどで居室不在も多いので
連絡はメールが確実です。